

2年森林資源コースが見学実習に 行ってきました！

- 1 期日 令和8年7月23日(木)
- 2 場所 ① 妙高山麓県民の森グリーンハウス(ドイツトウヒの森視察昼食)
② 妙高戸隠連山国立公園ビジターセンター(展示見学、いもり池周辺植生調査)
③ 池ノ平スポーツ広場クラブハウス(県産材を使った CLT 構造材)
- 3 内容 「課題研究」樹木観察・生物多様性の環境観察・改良木材の活用事例視察



笹ヶ峰高原にある県民の森には、
県内でも珍しい「ドイツトウヒ」の森
が広がっています。

生徒はタブレットを用いて写真を
撮り、観察を行いました。

ビジターセンターでは、ライチョウを始めとした山の動植物に関する展示を見学しました。

その後は、いもり池周辺を散策しました。外来種であるスイレンが池には繁茂しており、ボランティアの方々によって防草シート敷設など対策が行われていることを学びました。



上越地域振興局の方から、池の平スポーツ広場にあるクラブハウスについてご説明いただきました。

クラブハウスの建材には県産材のスギ・カラマツを使用した改良木材「CLT(直交集成材)」が用いられています。

CLT は大阪万博のリングや国立競技場にも使用されており、大規模建築材として注目されています。

木材の更なる可能性に、生徒も目を輝かせていました

本校 OB の藤井さんからもお話いただきました！

